

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

地域資源（人・自然）が生みだす雇用促進構想

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道足寄郡足寄町

3 地域再生計画の区域

北海道足寄郡足寄町の全域

4 地域再生計画の目標

北海道十勝東北部に位置する足寄町は、行政面積 1,408km²のうち 83%が森林の中山間地域であり、阿寒国立公園内にあるオンネトーは、天候や風向によって湖の色が変化し北海道の秘境とも呼ばれ、年間 45 万人を超える観光客が訪れる町である。

足寄町の産業は、豊かな森林資源と山麓を活用した酪農業・林業を基幹とする第1次産業と、関連する食品加工・製造業、加えて公共投資による土木建築業といった第2次産業、また十勝東北部の観光や地域集客を対象とした第3次産業により発展してきた。

しかしながら全国的な不況回復傾向にある中、北海道地方経済は、依然として低迷しており、各産業の再生が緊急の課題である。酪農業は、経営規模拡大や近代的な取り組みや新規就農者への支援等を行ってきたところであるが、労働力不足や高齢化・後継者不足や環境に配慮したクリーン農業の推進など多くの課題を抱えており、林業においては、既存の造林、造材、製材業は国内産木材価格がやや回復されつつあるが、森林整備意欲の衰退や、造林、造材を担う人材不足と経験不足となっている。

第1次産業と並ぶ重要な産業である土木建築業は、公共投資削減の影響を受け、建設業に従事する雇用保険被保険者数は減少にあり、足寄町の就業者数は、4,297人、雇用者数3,106人のうち季節労働者数は12%の377人（平成17年度国勢調査）となっており、季節労働者数の年間就労期間は、6ヶ月から8ヶ月という現状であり、また高年齢比率及び就業状況は、65歳以上 31.07%、就業者平均年齢は 49.4 歳と高齢化が進んでおり、若年層や50代後半から65歳未満の就業の場が不足している現状である。

本町では、「協働のまちづくり」を総合計画に取り入れ、市街地活性化や福祉政策、酪農業の中山間協働作業、放牧酪農による低コスト作業など、森林資源や酪農資源、体験観光資源を活用とした新たな振興に取り組みつつ、なかでも地球温暖化対策の有力な方法として、地域の豊富な木質バイオマスを活用した新産業の創出を支援しており、足掛かりとして平成17年度に木質ペレット（石油に代わるストーブ、ボイラー燃料）製造工場の建設、操業が行政・民間事業者の連携のもと、異業種の中小企業で構成された事業協同組合により実施されている。今後の木質ペレットのさらなる普及拡大に向けては、ペレットを使用する燃焼機器の開発・普及・販売までの各分野の技術・知識を備えた人材の雇用・育成

が課題となっている。さらに、木質ペレットの原料供給には、森林整備を推進することが不可欠であるが、造林・造材業等への雇用には、熟練された人材が求められていることから、高齢者の雇用促進が期待されている。また、資源の効率的な利活用に繋がるバイオ産業の可能性を探るため、畜糞によるバイオガス利活用実証試験として、バイオトラクターの稼働や、家庭燃料とするプロパンガスの代替燃料試験が実施されており、地域資源の有効活用が期待されている。

本町の観光面では、雌阿寒岳の登山やエゾマツやトドマツ等の原生林に囲まれたオンネト一周辺でのキャンプ・散策など、豊かな自然を中心とした観光資源に恵まれ、多くの集客がある。また、北海道遺産に登録された「螺湾ブキ」は、3mにもなる巨大ブキとして観賞用及び食品として販売されている。さらに、「螺湾ブキ」の自生する地区からは、二酸化マンガンや石灰石の地上での生成が見られ、これは世界に例のないものである。また鯨の祖先と言われるデスマスチルスの化石が世界初として発見されるなど、周辺は古代の学習場所として注目されているところである。

近年の観光を取り巻く状況として、ライフスタイルや価値観の変化に伴い、農山村に対する都市住民の関心も高まりつつある中、旅行形態が団体旅行から個人旅行へとシフトしており、その目的も、「物見遊山」から「体験・学習する観光」「本物志向の観光」への傾向が強まってきている。また、教育旅行の趣旨についても、単なる北海道観光から体験修学旅行へと変化してきている。体験型観光は、各町の豊富な資源を活用することで担うことが可能であることから、十勝東北部地域では、足寄町・陸別町・本別町・池田町で構成する地域観光連絡協議会を設立し、修学旅行のプランメニューの作成等を行っているところであるが、ガイド及びコーディネーター等の人材不足が課題となっている。

今回、地域提案型雇用創造推進事業(新パッケージ事業)により、地元人材の育成を図るとともに、「人・自然」の地域資源の活性化を目指し、季節労働者への雇用促進を図り、循環型社会と安定した雇用の枠組みを構築するものである。

(a) 林業関連分野

木質ペレット工場は、平成17年11月に建設され、年間700トンが生産される施設である。一方、町内公共施設での大型ペレットボイラー2基の導入、一般住宅での導入補助金制度によるペレットストーブが40台の導入により、年間消費量は、合わせて約400トンとなっている。今後は、北海道十勝管内での大型ボイラー導入要望や、ペレットストーブ導入補助金による支援の継続により、導入台数の増加を期待するところである。また、近年の灯油価格の高騰により、現在、導入希望が増加傾向にあり、平成21年度までに十勝管内のストーブ導入台数200台を目指す。

地球温暖化防止対策が進む中、北海道のエネルギー消費は、民生部門の二酸化炭素排出が課題となっており、木質ペレットは、この課題解決に有効とされている。平成18年度までに北海道では8箇所のペレット工場が設置され、今後もペレット産業が推進されると報じられていることから、ペレットの流通によりペレット需要効果が高まり、ペレットストーブの導入やボイラーの導入が期待できるとともに、関連事業への雇用の増加が期待できる。

森林整備事業は、木質バイオマス取組みや外国材の輸入減少により、国産材の需要が高まっているものの地域的な格差が生じており、また近年の異常低気圧による森林被害が増加しており、今後の森林整備意欲に危惧している状況であるが、木材価格が底上げされる傾向にあることから、造林・造材業としては、事業推進が期待できる。

(b)観光業関連分野

阿寒国立公園に隣接した足寄町は、年間45万人の入込み数となっており、世界遺産に認定された知床からの十勝経由による観光が増加しているが、近年の観光形態は、団体から個人に移行しつつあり、また関西や関東からの修学旅行については、冬のスキーや乗馬、ラフティング等、遊び感覚から、体験学習へと旅行趣旨が変わりつつある。足寄町には、広大な森林資源や、広い草地に放牧されている乳牛、馬といった酪農資源、オンネット一周辺の自然資源など、体験学習資源が豊富に存在しており、また、国内では足寄町でのみ体験可能な螺湾ブキ刈り取りといった貴重な体験学習資源も有している。また、民間においても酪農業体験の受け入れを行う担い手が育っている。このような中、平成17年度に足寄町を含めた近隣4町により十勝東北部地域観光連絡協議会を設立し、体験学習のメニュー作りを行っており、平成21年度以降の関西方面からの中学校・高等学校の受け入れを目指している。また、地域観光リーダーの養成については、平成18年度に4名が研修を受講するなど、NPO あしよろ観光協会を中心に受け入れを図っている。

(c)新産業関連分野

地球温暖化防止対策に伴い、バイオ産業の促進が図られている状況であり、新エネルギービジョンに基づき、地域エネルギー産業として、太陽光発電システム導入事業を実施している。また、畜産廃棄物からのバイオガスプラント利活用や農産物の出荷調整を図る雪氷エネルギー利活用が実証中であり、本年度から大型施設への検討がされている。さらには、温泉源によるメタンガス利用の検討が始まるなど、新産業の創出が期待できる。

(d)建設業関連分野

建設業と農林業との連携を図り、共同経営体の枠組みの中で、雇用の管理体制を確立することにより、求める職種及び時期に対応することを可能とし、季節労働者の通年雇用を促進する。

各関連分野における数値目標

雇用のアウトカム指標は、足寄町在住の季節労働者数(平成17年度国勢調査)377名の45%程度としている。

これは、地域雇用先とする、町内企業や、新産業創出として11件程度見込み、新産業による地域経済の上向きを期待したものである。

- ① 1年度目 9人
(常雇 4人、常雇以外 4人、創業者 1人)
- ② 2年度目 45人
(常雇 30人、常雇以外 10人、創業者 5人)
- ③ 3年度目 76人

(常雇 50人、常雇以外 22人、創業者 4人)

		ア ウ ト カ ム				アウトカム 指標設定の根 拠	
		1 年度目	2 年度目	3 年度目	合計		
人材育成メニュー ・木質ペレット人材育成事業		2人	3人	8人	13人	失業者数の 7%	
	常雇	1	常雇	2	常雇		3
	常雇以外 創業者	1	常雇以外 創業者	5 1	常雇以外 創業者		8 2
・体験型観光ガイド育成事業		1人	4人	10人	15人	失業者数の 6%	
	常雇		常雇	5	常雇		7
	常雇以外 創業者	1	常雇以外 創業者	5 1	常雇以外 創業者		7 1
・雇用共同経営体事業		5人	30人	50人	85人	季節労働者数 の 25%	
	常雇	3	常雇	25	常雇		68
	常雇以外 創業者	2	常雇以外 創業者	1 4	常雇以外 創業者		10 7
就職促進メニュー ・就職相談開催事業		1人	8人	8人	17人	失業者数の 16%	
	常雇		常雇	3	常雇		6
	常雇以外 創業者	1	常雇以外 創業者	5 3	常雇以外 創業者		11 5
合 計	人材育成メニュー	8人	37人	68人	113人		
		常雇 4 常雇以外 3 創業者 1	常雇 27 常雇以外 5 創業者 5	常雇 47 常雇以外 17 創業者 4	常雇 78 常雇以外 25 創業者 10		
	就職促進メニュー	1人	8人	8人	17人		
		常雇 常雇以外 創業者	常雇 3 常雇以外 5 創業者	常雇 3 常雇以外 5 創業者	常雇 6 常雇以外 11 創業者		

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

中山間地域である足寄町は、豊かな森林資源を活用した林業や、オンネットーをはじめとした観光資源による観光産業等により発展してきた。平成17年度には、官民連携のもと、森林資源を活用した木質ペレット製造工場が建設され、操業が行われている。しかし、地域経済は依然として低迷しており、木質ペレット関連産業の熟練した人材や高年齢者の雇用確保、旅行形態の変化に伴う観光ガイド等の人材育成が急務となっている。そこで、支援措置を活用し、豊富な森林資源や観光資源を活用した新たな取り組みを推進し、地域の人材育成を図ると共に、「人・自然」の地域資源の活性化を目指し、循環型社会を構築する。

5-2 法第5章の特別な措置を適用して行う事業

該当なし

5-3 その他の事業

5-3-1 支援措置を受けて行う取り組み

地域雇用創造推進事業【B0902】

I 雇用拡大メニュー

(1) 木質ペレット雇用拡大事業

イ 事業内容

ペレットに関する研修及びセミナーを実施し、林業事業者及び商工業者とのネットワーク化を図り、ペレット産業の各分野への雇用拡大に繋げる。

ロ 事業実施期間

平成 19 年度～平成 21 年度

ハ 事業実施主体

足寄町、とかちペレット協同組合、足寄町商工会、足寄町森林組合

(2) 体験型観光雇用拡大事業

イ 事業内容

観光ガイド及びコーディネーター研修及びセミナーを実施し、体験プログラムを実施する NPO あしよろ観光協会、体験学習等の創業者への雇用拡大に繋げる。

ロ 事業実施期間

平成 19 年度～平成 21 年度

ハ 事業実施主体

足寄町、足寄町商工会、NPO あしよろ観光協会

II 人材育成メニュー

(1) 木質ペレット人材育成事業

イ 事業内容

木質ペレット製造は国内において先進的取組であり、これまで足寄町木質ペレット研究会が行ってきた研究成果を十分に活用するとともに、国内でのペレット製造関係者及びペレット燃焼機器製造会社との連携を図り、それぞれの技術を組み込んで、より質の高い人材育成を行っていく。これにより足寄町が木質ペレット産業分野での競争力を増し、産業発展による更なる雇用増のサイクルにつながる。

・木質バイオマス研修(事業・職種共通)

環境・エネルギー政策及び地域産業である農林業再生のために、バイオマス、木質ペレットが果たす役割を学び、木質ペレットに関連する職業への動機付けを図る。

木質バイオマスによる新エネルギービジョン策定からペレット試作までの試行錯誤の取り組みから、ものづくりの意義や楽しさを学ぶとともに、先進地域の視察報告をもとに、継続的循環型社会の必要性や木質ペレット産業の将来性を理解する。

・原料収集研修

木質ペレットの原料は、これまで山土場に残材として放置されていたものを使用するため、収集・運搬については新たに確立する作業方法を用いて、人材育成する必要がある。作業には「はい積み」、「玉掛け」等の特殊技能講習を行う。

また、林地残材搬出方法について国内先進地域での現地研修を行い、先進技術の習得を行う。

・ペレット製造研修

木質ペレット工場は、約30の単機能を持つ機器による構成から成っており、これらの定期点検や簡易な調整・修理を行える技術を習得する。

製造分野では作業手順や機械操作を実務者に正しく理解してもらうことが、生産効率や品質を維持するために必要であることから、製造工程の効率化や品質管理を学びながら、実務に対応するマニュアルの設計を学ぶ。

また、木質ペレット製造技術について国内先進地域での現地研修を行い、先進技術の習得を行う。

・ペレット及び燃焼機器販売研修

木質ペレットの販路拡大に向け、ペレットや燃焼機器への十分な商品知識と広域的なマーケティング及び営業能力を習得する。また、燃焼機器のメンテナンス技術の習得と、作業標準化に対応するマニュアルの設計等を学ぶとともに、燃焼実験機器の組み立てを習得する。

研修では機器メーカーにて、商品知識と、マーケティング及び営業に関する研修を行う。

・地域熱供給設備研修

大型施設への木質ペレットボイラーは、運転管理や熱供給に関する総合的な技術が必要であり、メンテナンス技術等を習得する。

また、燃焼機器の組み立て及びメンテナンスについて国内先進地域での現地研修を行い、先進技術の習得を行う。

□ 事業実施期間

平成 19 年度～平成 21 年度

ハ 事業実施主体

足寄町、とかちペレット協同組合、足寄町商工会、足寄町木質ペレット研究会、造林業

(2) 体験型観光ガイド育成事業

イ 事業内容

観光ガイド及びコーディネーターの養成として、自然体験活動リーダー(コーンリーダー)取得研修や十勝観光ガイド検定試験により、広域的な観光知識を持つガイドにより、修学旅行計画事業者との連携を図るとともに、団塊の世代による個人向けガイドを増やす。

また、農家民泊研修として、民泊事業主としての経営及び体験型とした民泊技術を習得し、地域特性を活かした体験ができるマニュアル技術を習得することにより、体験プログラムを実施する NPO あしよろ観光協会を中心とした雇用拡大に繋げる。

- 事業実施期間
平成 19 年度～平成 21 年度
- ハ 事業実施主体
足寄町、NPO あしよろ観光協会

(3) 雇用共同経営体事業

- イ 事業内容
町内企業間では、事業量格差があり、しかも職種によって時期的な繁忙期が異なることから、共同体制による雇用促進が求められており、その職種に応じた人材育成を図るとともに、雇用共同経営体制により、通年雇用を促進し、町内における季節労働者の雇用拡大に繋げる。
- 事業実施期間
平成 19 年度～平成 21 年度
- ハ 事業実施主体
足寄建設業協会、足寄町建設事業協会、東北北海道木材協会、足寄町農業協同組合、足寄町商工会

Ⅲ 就職促進メニュー

(1) 就職相談開催事業

- イ 事業内容
就職相談窓口を開設し、就職相談を行う企業等を招聘した就職相談を実施し、就業意欲の喚起及び雇用促進を図る。
- 事業実施期間
平成 19 年度～平成 21 年度
- ハ 事業実施主体
足寄町、足寄町商工会

5-3-2 支援措置によらない独自の取り組み

(1) 木質ペレットストーブ導入事業

- イ 事業内容
木質ペレットストーブの導入を助成することで、ストーブの普及及びペレット産業への雇用拡大を図る。
- 事業実施期間
平成 19 年度～平成 21 年度
- ハ 事業実施主体
足寄町

(2) 十勝東北部地域観光検討事業

- イ 事業内容

修学旅行生の受入れを促進し、民泊、ガイド等への雇用に繋げる。

□ 事業実施期間

平成 19 年度～平成 21 年度

ハ 事業実施主体

地域観光連絡協議会(足寄町、陸別町、本別町、池田町)

(3) 足寄町住宅用太陽光発電システム導入事業

イ 事業内容

住宅用太陽光発電システム導入を助成することで、システム導入の普及拡大と地域産業への雇用に繋げる。

□ 事業実施期間

平成 19 年度～平成 21 年度

ハ 事業実施主体

足寄町

6 計画期間

認定の日から平成22年3月末まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

毎年、事業年度の3月末に、足寄町地域資源活用促進協議会にて評価する。
なお、評価に基づき次年度事業計画は、随時見直しを行う。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし